

24.3期 第2四半期決算 補足説明資料

2023年11月9日



月島ホールディングス

24.3期 第2四半期決算 連結損益

- 受注高は、水環境事業の大型案件が貢献し、増加（受注高、受注残高ともに、過去最高）。
- 売上高は、豊富な受注残高が進捗し、増収。
- 営業利益は、前期高採算案件の反動、一過性の費用(※)により、減益
（※期初より想定済の費用・・・持株会社体制への移行、不動産取得税、 想定外の費用・・・不具合対応）
- 当期純利益は、投資有価証券売却益により、横ばい。

【単位：億円】	23.3期 第2四半期 実績	24.3期 第2四半期 実績	前期比
受注高	648	726	+78
受注残高	1,632	1,783	+151
売上高	374	383	+9
営業利益	9	0	△9
営業利益率	2.4%	0.0%	△2.4%
経常利益	14	7	△7
親会社株主に 帰属する当期純利益	9	9	±0

24.3期 第2四半期決算 連結損益（受注高、売上高）

受 注 高

【水環境事業】

複数の大型案件を順調に獲得し、大幅増加
（2Q時点で過去最高の受注額）

【産業事業】

上期に大型EPC案件の受注がなく、減少

売 上 高

【水環境事業】

一部案件で別途発注の土木、電気工事の遅れに伴う、
当社機械設備工事の遅れにより減収

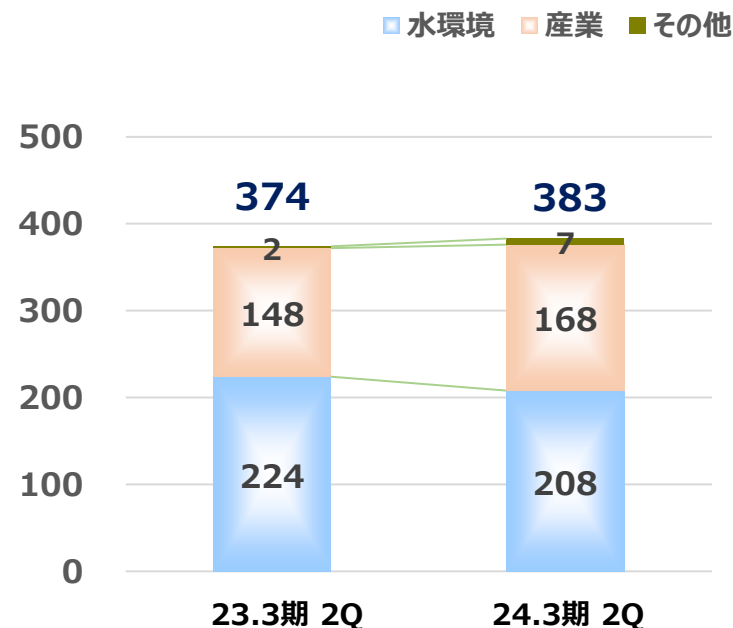
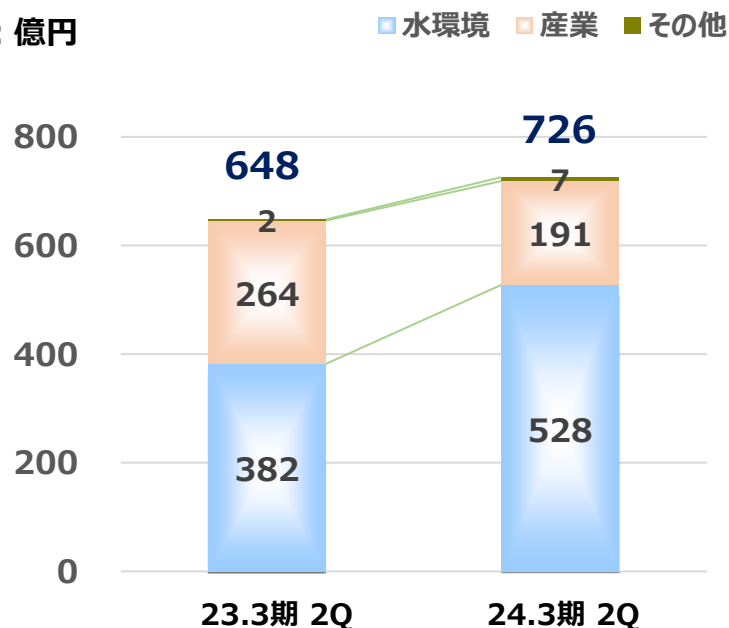
【産業事業】

大型EPC案件の進捗に伴い、増収

サンエコサール(株)のセグメントは、
24.3期より水環境事業から産業事業に変更
(数値は23.3期から修正)

その他：物流設備など不動産管理、賃借などに関するセグメント

単位：億円



24.3期 第2四半期決算 連結損益（営業利益）

営業利益

【水環境事業】 減収、および一過性の不具合対応費用により、減益（JFEエンジニアリング(株)の事業統合費用は3Q以降に計上）

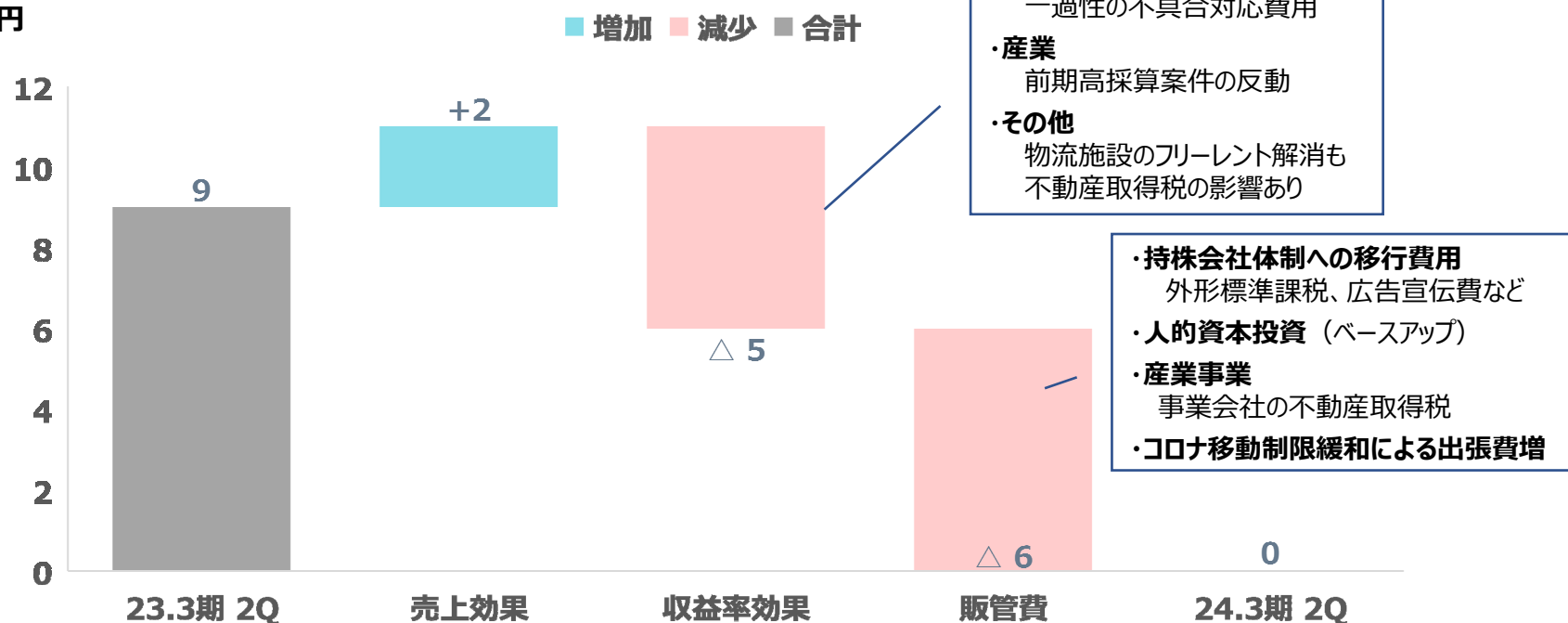
【産業事業】 増収も、前期高採算案件の反動、事業会社の建屋建替えによる不動産取得税により、減益

※両事業共に、一過性の持株会社体制への移行費用の影響あり

【その他】 物流施設の不動産取得税の支払があるものの、24.3期よりフリーレント期間が解消し、赤字解消。

※営業利益の前期比△9億円の要因のうち、
一過性費用（持株会社体制への移行、不動産取得税、不具合対応費用）の影響は、約6億円

単位：億円



24.3期決算 業績見通し

サンエコサール(株)のセグメントは、
24.3期より水環境事業から産業事業に変更
(数値は23.3期から修正)

受 注 高

【水環境事業】

水インフラ投資は堅調。JFEエンジニアリングとの水エンジニアリング事業の統合も考慮し増加

【産業事業】

期ズレした大型案件を取り込み増加

売 上 高

【水環境事業】

受注済み案件の進捗およびJFEエンジニアリング統合効果により増収

【産業事業】

焼却などの受注済み案件が進捗し増収

営業利益

【水環境事業】

JFEエンジニアリングとの事業統合に伴う一過性の費用の影響があるものの、増収により増益

【産業事業】

低採算案件の進捗があるものの、増収により増益

【その他】

物流施設のフリーレントは解消し、赤字解消

単位：億円

■ 水環境 ■ 産業 ■ その他

